Infectious Diseases Weekly Report

IDWR HIROSHIMA City 広島市感染症週報

2026年第44週（10月26日～11月1日）

広島市感染症対策協議会・広島市感染症情報センター

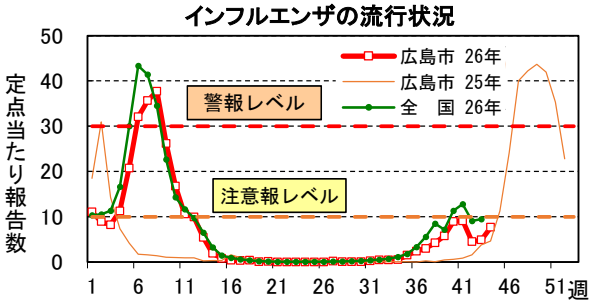
■コメント

1 インフルエンザ

定点当たり7.65人と、前週の約1.6倍に増加しました。また、インフルエンザ様疾患による学級閉鎖等の報告が続いています。手洗いの励行、咳エチケット、換気など、感染予防対策を徹底しましょう。（次ページ参照）

迅速診断キット検査結果（市内2か所の協力医療機関による）
第44週　A型：48人、B型：0人

インフルエンザの流行状況



2 RSウイルス感染症

定点当たり0.76人の報告があり、前週と比べて増加しました。全国では8月頃から増加傾向となっており、注意が必要です。感染経路は接触感染と飛沫感染です。おもちゃや手すりなど手の触れる部分の消毒や手洗いの励行、咳エチケットなど、感染予防対策を心がけましょう。また、4月から妊娠中の女性を対象とした母子免疫ワクチンが定期接種となりました。対象者は早めに接種を受けましょう。

3 感染性胃腸炎

定点当たり5.24人の報告があり、多い状況です。感染予防のため、便・吐物は適切に処理しましょう。また、トイレの後、便・吐物を処理した後、調理の前、食事の前など、せっけんと流水でこまめに手を洗いましょう。

■定点把握感染症報告状況（週報対象）

定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	過去5年間平均（注）	発生記号	定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	過去5年間平均（注）	発生記号
ARI	急性呼吸器感染症（ARI）	2031	59.74		⇨	小児科	突発性発しん	4	0.19	0.19	
	インフルエンザ	260	7.65	5.35	↘		ヘルパンギーナ	7	0.33	0.29	
	新型コロナ（COVID－19）	8	0.24				流行性耳下腺炎	－	－	0.06	
小児科	RSウイルス感染症	16	0.76	0.46	↑	眼科	急性出血性結膜炎	－	－	－	
	咽頭結膜熱	10	0.48	0.51			流行性角結膜炎	4	0.50	0.65	
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	21	1.00	2.36	↘	基幹	細菌性髄膜炎	－	－	－	
	感染性胃腸炎	110	5.24	3.29	↘		無菌性髄膜炎	1	0.17	0.03	
	水痘	7	0.33	0.07			マイコプラズマ肺炎	5	0.83	2.66	
	手足口病	4	0.19	0.89			クラミジア肺炎（オウム病を除く）	－	－	－	
	伝染性紅斑	－	－	0.23			感染性胃腸炎（ロタウイルス）	－	－	－	

急増減	↑ ↓	前週と比較しておおむね1：2以上の増減
増減	↗ ↘	前週と比較しておおむね1：1.5～2の増減
微増減	↗ ↘	前週と比較しておおむね1：1.1～1.5の増減
横ばい	⇨	ほとんど増減なし

報告数が少数の場合などは、発生記号を記載していません。

急性呼吸器感染症（ARI）定点数（内科・小児科）	34
小児科定点数	21
眼科定点数	8
基幹定点数	6

（注）過去5年間の同時期平均（定点当たり）

■全数把握感染症報告状況

類型	疾患名	報告数	累計	備考
2	結核	3	113	40歳代・推定感染地域：国外、60歳代、80歳代
3	腸管出血性大腸菌感染症	2	56	30歳代・O157、60歳代・O63
4	日本紅斑熱	1	4	80歳代
4	レジオネラ症	2	36	40歳代、80歳代
5	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1	10	90歳代
5	侵襲性肺炎球菌感染症	1	19	10歳未満
5	梅毒	3	98	20歳代・1人、30歳代・2人

■定点把握感染症報告状況（週報対象）の推移

			急性呼吸器感染症（ＡＲＩ）	インフルエンザ	新型コロナ（ＣＯＶＩＤ－19）	ＲＳウイルス感染症	咽頭結膜熱	Ａ群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎	感染性胃腸炎（ロタウイルス）
報告数	広島市	第40週	1,724	305	19	10	5	13	101	2	20	－	4	6	1	－	1	－	－	8	－	－
		第41週	2,167	309	9	16	－	20	82	3	12	－	2	10	－	－	1	－	3	1	－	－
		第42週	1,763	152	14	17	1	18	85	2	4	－	1	7	－	－	2	－	1	4	－	－
		第43週	1,953	166	9	8	14	29	85	10	8	－	2	8	2	－	7	－	2	1	－	－
		第44週	2,031	260	8	16	10	21	110	7	4	－	4	7	－	－	4	－	1	5	－	－
定点当たり	広島市	第40週	50.71	8.97	0.56	0.48	0.24	0.62	4.81	0.10	0.95	－	0.19	0.29	0.05	－	0.13	－	－	1.33	－	－
		第41週	63.74	9.09	0.26	0.76	－	0.95	3.90	0.14	0.57	－	0.10	0.48	－	－	0.13	－	0.50	0.17	－	－
		第42週	51.85	4.47	0.41	0.81	0.05	0.86	4.05	0.10	0.19	－	0.05	0.33	－	－	0.25	－	0.17	0.67	－	－
		第43週	57.44	4.88	0.26	0.38	0.67	1.38	4.05	0.48	0.38	－	0.10	0.38	0.10	－	0.88	－	0.33	0.17	－	－
		第44週	59.74	7.65	0.24	0.76	0.48	1.00	5.24	0.33	0.19	－	0.19	0.33	－	－	0.50	－	0.17	0.83	－	－
	全国	第42週	56.70	9.08	0.89	1.09	0.18	1.19	2.82	0.20	0.60	0.02	0.24	0.74	0.03	－	0.52	0.01	0.07	0.61	0.01	0.01
		第43週	60.51	9.49	0.83	1.12	0.21	1.36	3.18	0.17	0.59	0.02	0.25	0.71	0.04	0.02	0.52	0.02	0.06	0.82	0.01	－

■病原体検出状況（ARIサーベイランス）

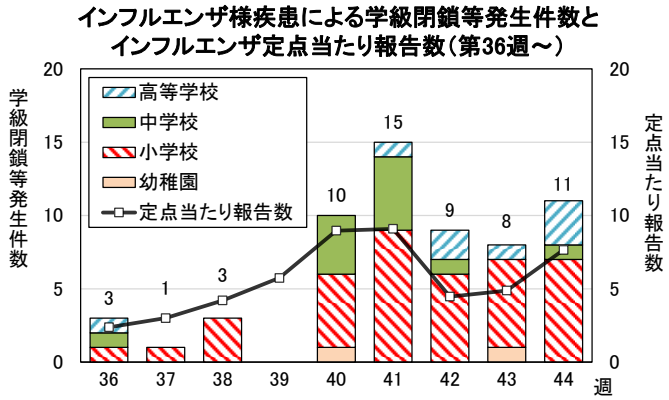
感染症発生動向調査に基づくARI病原体定点医療機関からの搬入分のみ掲載

検体採取週	検査検体数	陽性検体数＊	インフルエンザウイルスAH1pdm09	インフルエンザウイルスAH3	B型インフルエンザウイルス（ビクトリア系統）	B型インフルエンザウイルス（山形系統）	新型コロナウイルス（SARS-CoV-2）	A型RSウイルス	B型RSウイルス	ヒトメタニューモウイルス	パラインフルエンザウイルス1型	パラインフルエンザウイルス2型	パラインフルエンザウイルス3型	パラインフルエンザウイルス4型	ライノウイルス	エンテロウイルス	アデノウイルス
第39週	5	4												1	2		1
第40週	16	12	3					2		3	1				4	2	1
第41週	15	10	4					1						4	3		
第42週	13	11	6							1					2	2	
第43週	16	12	3							1		1		1	5	1	1

＊同一検体からの複数ウイルス検出例を含む（検査：広島市衛生研究所）

詳しくはホームページで　広島市　病原体　検索

【参考】インフルエンザ様疾患による学級閉鎖等の発生状況（広島市）



インフルエンザ様疾患による学級閉鎖等の報告が続いています。今シーズンの累計は、第44週時点で60件です。施設別では、小学校が38件と最も多く、次いで中学校が12件、高等学校が8件、幼稚園が2件報告されています。

手洗い、咳エチケット、適度な湿度の保持、換気などの感染予防対策を徹底しましょう。また、普段と異なる症状がある場合には、外出、出勤、登校・登園を控えましょう。症状などからインフルエンザが疑われる場合は、早めに医療機関を受診しましょう。

【参考】広島市におけるインフルエンザ様疾患による学級閉鎖等（集団かぜ）の発生状況

https://www.city.hiroshima.lg.jp/living/eisei/1003071/1028019/1028021/1011149.html

本週報は、速報性を重視していますので、今後調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがあります。なお、感染症情報の詳細についてはホームページでご覧いただけます。
https://www.city.hiroshima.lg.jp/living/eisei/1003071/index.html

【問い合わせ先】
広島市感染症情報センター/広島市衛生研究所　〒733-8650　広島市西区商工センター四丁目１番２号
TEL(082)277-6575　FAX(082)277-5666　E-Mail ei-seikatsu@city.hiroshima.lg.jp